

引張試験機

プロテスター TI-20型

あと施工アンカー引張試験機

取扱説明書



適合サイズ

M6～M24

W1/4～W1

D10～D25



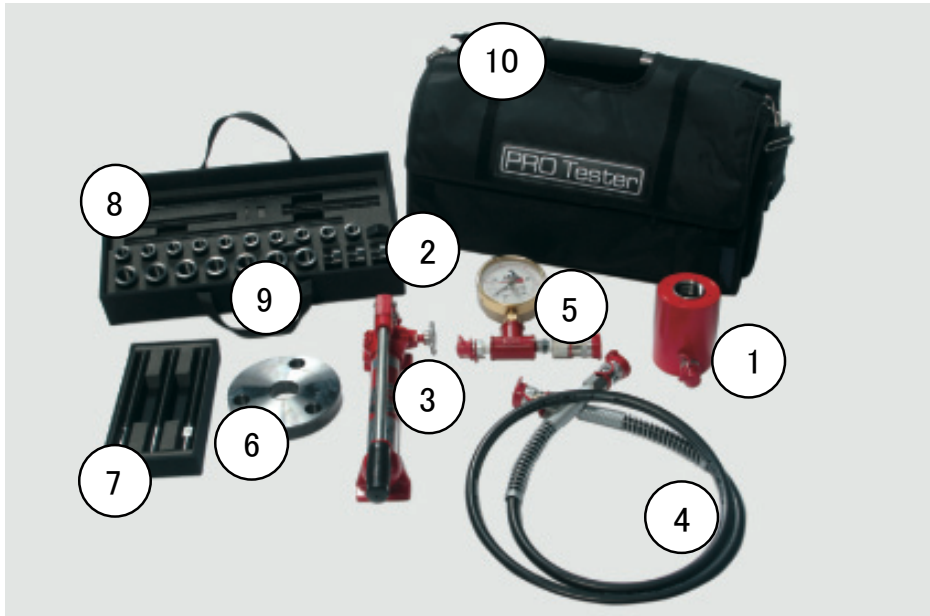
株式会社 トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

目 次

1,	各部名称	P-1
2,	組立手順	P-2~4
3,	操作手順	P-5~6
4,	注意事項	P-7

1, 各 部 名 称



- ① センターホールシリンダー
- ② センターホールシリンダー用特殊台座
- ③ 油圧ポンプ
- ④ 油圧ホース
- ⑤ 圧力計
- ⑥ 反力台
- ⑦ 反力台調整ボルト
- ⑧ センターシャフト(M16×160L・350L、M24×160L・350L)
- ⑨ カプラ(M6～M24、W1/4～W1)

2, 組立手順



- ① 油圧ポンプに圧力計を取り付めます。

⚠ ※圧力計のガラスは割れやすいので
ご注意ください。



- ② センターホールシリンダーとポンプ、
油圧ホースのキャップをはずし、
カチッと音がするまで押しはめ込みます。

⚠ ※カプラ同士をしっかりとめ込んで下さい。
隙間があると油もれや故障の原因になります。



- ③ 適合サイズのセンターホールシリンダー用
特殊台座をねじ込みます。

⚠ ※ねじ込みはしっかりと締め付けて下さい。



- ④ 反力台に反力台調整ボルトをセットします。

※ボルトの先端が3山ほど出る程度まで
ねじ込んでください。



- ⑤ アンカーサイズに適合した、カップラを取り付けます。
※めねじアンカーの場合は、寸切りボルトを取り付けます。



- ⑥ センターシャフトをねじ込みます。
※カップラとの隙間が無くなるまでねじ込んでください。

⚠ ねじ込みが不十分だとボルト等のねじ山が損傷し、ボルトや機械が飛び出して事故や怪我を招く恐れがあります。



- ⑦ 反力台を設置し、センターシャフトと反力台が直角になるよう反力台調整ボルトを調整します。

⚠ ※水平に置かれていないと偏荷重が架台及びテンションボルトに発生し、ボルトや機械が破損し事故や怪我を招く恐れがあります。



- ⑧ センターシャフトにセンターホールシリンダーを通します。

⚠ ※壁面及び天井向きの場合、落下による怪我や機械の破損が考えられます。
必ず落下防止措置を講じて下さい。



- ⑨ ワッシャー、ナットをセットして、全体的に
がたつかない程度に締め込みます。

組立完了です。

3, 操作手順



- ① 圧力計の置針を“0”に合わせます。
(圧力計中央のツマミを回すと赤針が回ります)

目盛について…赤の数字がkN目盛になります

赤字:kN 黒字:MPa



- ② レバー握り部を手で上から押して、
ロックピンを外し、空気弁を開放します。



- ③ 出戻バルブを右方向にゆっくり回します。

⚠ 停止するまで回してください。但し工具等を使用して回すと破損の恐れがありますので必ず手で回してください。



- ④ ハンドルをゆっくり上下に繰り返し、
設定荷重まで加圧します。

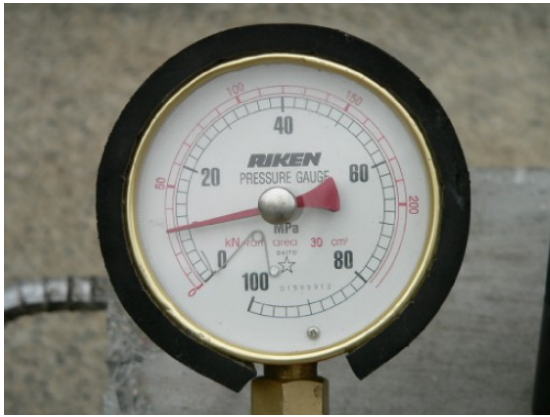
【加圧速度の目安】

$$\text{アンカーねじ径の有効断面積 (mm}^2\text{)} \times \text{毎秒 } 0.02\text{kN/mm}^2 = \text{kN}$$

(例) M16の場合

$$157.0\text{mm}^2 \times \text{毎秒 } 0.02\text{kN/mm}^2 = \text{毎秒 } 3.14\text{kN}$$

⚠ 注意: ボルトの先端に顔、体を向けない



⑤ 赤の針の示す位置が引張荷重 (kN) となります。

(1目盛: 10kN)



⑥ 出戻バルブを左方向 (ポンプ側) にゆっくり回して減圧します。

⚠ 注意…減圧時は、つまみを左にゆっくりと回してください。急激に減圧するとゲージを破損する原因となります。

使用後

- ・出戻バルブを全閉にして下さい。
- ・空気弁を全閉にして下さい。
- ・レバー握り部をロックピンで固定して下さい。
- ・高圧ホースを外して下さい。
- ・カブラには必ずキャップを付けて下さい。

4, 注 意 事 項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, 圧力計には、急激なショックを与えないで下さい。 故障の原因となります。
- 4, 油を使用しているため、火気の附近や溶接作業を行っている場所では使用しないで下さい。
- 5, 使用中油温が60℃を越すと圧力が上がらない場合があります。冷却後、使用して下さい。
- 6, 油が目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けて下さい。
- 7, 油が皮膚に触れた場合は、水と石鹼で十分に洗ってください。
- 8, 油を飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、直ちに医師の診断を受けてください。

『引張荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所に
よって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、引張試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、

加える荷重には十分注意してください。